

学年	中学3年	教科	音楽	科目	音楽	単位数	2
教科書名	中学生の音楽下 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)			副教材名	音楽のキャンパス③ (教育芸術社)		
コース・クラス	中高一貫						

## I. 目標

- ・基礎的な音楽表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。
- ・多様な音楽に興味、関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を育てる。
- ・アルトリコーダーの基礎的な知識及び技術を身に付ける。

## II. 授業のねらい

- ・声の出る仕組みを知るために、歌唱を行う。
- ・声を合わせて歌う喜びを知るために、合唱を行う。
- ・楽器の基礎を身に付けるために、器楽・アルトリコーダーを扱う。
- ・作品の特徴や表現の多様さを感じるために、鑑賞・器楽曲や外国語の歌曲に触れる。

## III. 授業の進め方

- (1) 正しい発声練習をし、教科書やプリントの曲の歌唱をする。
- (2) 映像などを使いながら作品の理解を深めるために、演奏と同時にワークやプリントを扱う。
- (3) それぞれの曲がもつ表現を感じ取るために、さまざまな音楽を鑑賞し、ワークにまとめる。

## IV. 学習上の留意点

- (1) 発声練習でしっかりと声を出し、正しい姿勢で歌う。
- (2) 教科書、ノート、楽器を忘れず用意し、授業に取り組む。
- (3) 提出物の期限は必ず守る。

## V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 定期試験時には行わず授業内で歌唱試験を行う
- 1 学期 期末試験 : 定期試験時には行わず授業内でリコーダー試験を行う
- 2 学期 中間試験 : 定期試験時には行わず授業内で歌唱試験を行う
- 2 学期 期末試験 : 定期試験時には行わず授業内でリコーダー試験を行う
- 3 学期 学年末 : 定期試験時には行わず授業内で歌唱試験を行う

※各学期に単元別の小テストを行う場合がある

## VI. 評価の方法

実技では歌唱テストおよび器楽テストなどを行い、鑑賞ではノートの記載を適切に行なっているかを確認し、評価をする。授業態度(忘れ物を含む)平常点として、忘れ物、授業態度が適切でない者(遅刻・私語・授業に不必要な持参物等)は減点する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	年間を通して、発声は毎回行う。 ・歌唱「花」 ・歌唱「花の街」	実技テスト 小テスト 授業態度 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容から情景を豊かに感じ取り、それを生かした表現を工夫する。</li> <li>・楽曲、作品に関する時代背景や歴史的、民族的、社会的意味について関心をもつ。歌声の魅力を、音色や風土と関わらせて聴く。</li> <li>・2重奏を通して相手の音を聴き、演奏の幅を広げる。</li> </ul>
	5	・鑑賞「ボレロ」 オーケストラについて		
	6	・アルトリコーダー 「きらきら星」「威風堂々」		
	7	「木かげの思い出」		
二学期	9	・歌唱「帰れソレントへ」 ・鑑賞「能（敦盛）」	実技テスト 小テスト 授業態度 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・速度や強弱、転調による曲想の変化を感じ取り、それを生かし表情豊かに歌唱する。作品の仕組みを理解させ、音色や楽器の多様な組み合わせによる表現の豊かさを味わう。</li> </ul>
	10	・交響詩について ・鑑賞「ブルタバ(スメタナ)」		
	11	・アルトリコーダー 「ふるさと」「エーデルワイス」		
	12	「星の世界」等 ・鑑賞「西洋音楽史」		
三学期	1	・合唱の練習 ・卒業式歌の練習	実技 授業態度 提出物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞から作者の心情を感じ取り、旋律のまとまりを生かした表現を工夫する。</li> <li>・音楽の背景となる歴史や文化とともに表現の特徴や多様さを聴きとる。</li> <li>・豊かな響きのある声で表現する。</li> </ul>
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。